

令和4年度 全日本ライフル射撃競技選手権大会 (50mライフル種目) 全日本選抜ライフル射撃競技大会 (10m種目)



©YOSHIZAWA

令和4年11月4日から6日までの間、埼玉県長瀬射撃場において令和4年度全日本ライフル射撃選手権大会 (50mライフル種目) 及び全日本選抜ライフル射撃競技大会 (10m種目) が行われた。自衛隊体育学校からは、第2教育課射撃班 山下敏和3等陸佐以下13名が出場し、男女混合エアピストル競技において園田吉伸2等陸曹・山田聡子3等陸曹ペアが優勝、50mライフル伏射競技において山下敏和3等陸佐と小笠綾乃1等陸尉が優勝を飾った。

3連続ポイントで 逆転優勝



表彰式にて 左から園田2曹・山田3曹

男女混合競技 (以下 MIX) は東京2020大会から新たにオリンピック競技正式種目となり、今回の優勝はパリ五輪に繋がる大きな一歩になったと感じる。この種目は本選で各人30分以内で30発を打ち、二人の合計点で順位が決定し、3位と4位のペアが3位決定戦、1位と2位のペアが決勝戦に進むことが出来る。エア種目個人戦は1時間15分で60発射つものに対し、この種目は正確性と速さが問われる。山田・園田チームは14チーム中1位 (573点) で本選を通過し2位に6点差をつけ決勝戦進出となった。相手は小西ゆかり (飛鳥交通) と森川清司 (広島県警察) ペアだ。決勝戦のルールは、合図で各々50秒以内に1発を打ち、チームの合計点が高いチームに2ポイント、同点の場合1ポイント加算される。これを繰り返し最終的に16ポイント先取したチームが勝ちとなる。山田・園田チームは先制点を相手に取られ、そのまま相手にリードされる形で試合が進んだ。途中から自分たちの流れにもっていくが、10-14で相手にリーチがかかる。しかし決して最後まで気を抜くことなく3連続ポイントで見事逆転優勝を決めた。試合後、園田2曹は「今回個人戦で不甲斐ない結果でした。MIXでは優勝するしかないと思っていたので勝てて良かったです。」山田3曹は「まずは金メダルが獲れて嬉しいです。MIX種目は2人の合計得点で競いますが、個人の点数が高くないと勝てない種目なので自分の射撃に集中し、しっかりと

最後まで射てました。応援ありがとうございました。」と語った。なお、山田3曹は10mエアピストル個人戦において本選日本タイ記録 (577点) を打ち、強化指定選手A基準をクリアした。

山下・小笠 伏射 優勝

優勝

50mライフル伏射競技 (非五輪競技種目) では男女共に自衛隊体育学校が優勝を手にした。試合後、山下3佐は「8度目の優勝をすることが出来ました。この結果に満足せず世界で勝てる選手になります。応援ありがとうございました。」と語り、小笠1尉は「全日本選手権で優勝出来たことはとても嬉しいです。メイン種目では優勝を逃してしまったので、この経験を活かして次の目標に向かって精進していきたいと思っています。たくさんの応援ありがとうございました。引き続きよろしくお願ひします。」と述べた。

また、小笠1尉は、女子50mライフル3姿勢競技本選において586点を記録し強化指定選手A基準を射った。今後の更なる活躍が楽しみだ。



トロフィーを手にした 小笠1尉 (左) と山下3佐 (右)

総合成績 (3位入賞者)

男子50mライフル3姿勢
第3位 2等陸曹 花川 直樹 (兵庫県)

女子50mライフル3姿勢
準優勝 1等陸尉 小笠 綾乃 (岐阜県)

男子50mライフル伏射
優勝 3等陸佐 山下 敏和 (徳島県)

女子50mライフル伏射
優勝 1等陸尉 小笠 綾乃 (岐阜県)
準優勝 3等陸曹 川原 楓 (福岡県)

女子10mエアライフル
第3位 1等陸尉 小笠 綾乃 (岐阜県)

男子10mエアピストル
第3位 3等陸曹 金坂 春杜 (千葉県)

エアピストル MIX
優勝 2等陸曹 園田 吉伸 (群馬県)
3等陸曹 山田 聡子 (滋賀県)

エアライフル MIX
準優勝 1等陸尉 小笠 綾乃 (岐阜県)
2等陸曹 島田 敦 (埼玉県)

